

## 生徒意識調査の結果分析(1年)

### 【 数値が特に良かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	社会の授業で、調べて分かったことや考えたことを自分でまとめ、ノートやワークシートなどに書いている。	<p>①②③④の項目では、「当てはまる」と答えた生徒が県平均を上回っている。子どもたちが、学習に対して意欲的に取り組もうとしていることがわかる。また、④の項目では、「当てはまる」と「どちらかと言えば、当てはまる」を入れたら9割以上の生徒が理科の授業内容がわかると回答しており、子どもたちが理科の授業を積極的に受けていることがわかる。</p> <p>一方で①の項目において、県平均を下回っている。携帯電話を所持しているが、約束をしていない生徒が県平均を大きく上回っており、他の項目から、家庭学習の時間が確保されていないこともわかった。また、4人に1人が1日に2時間以上使用しており、予習や復習の時間が取れないことも顕著である。スマートフォン等の使い方のルール決めを行い、家庭学習の時間を定着させるために、学習計画や自学ノートの継続的指導を行っていきたい。学習に対しての意欲や自己認知はあるが、行動が伴わないので、家庭とも連携し改善をしていきたい。</p>
②	学習塾(家庭教師の先生に教わっている場合も含みます。)で勉強をしていますか。	
③	理科の授業で、自分が何を調べるのかはっきり分かって観察や実験を行っている。	
④	理科の授業内容はよくわかる。	
⑤	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う。	

### 【 数値が特に悪かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	<p>①②③④の項目では、「当てはまる」と答えた生徒が県平均を上回っている。子どもたちが、学習に対して意欲的に取り組もうとしていることがわかる。また、④の項目では、「当てはまる」と「どちらかと言えば、当てはまる」を入れたら9割以上の生徒が理科の授業内容がわかると回答しており、子どもたちが理科の授業を積極的に受けていることがわかる。</p> <p>一方で①の項目において、県平均を下回っている。携帯電話を所持しているが、約束をしていない生徒が県平均を大きく上回っており、他の項目から、家庭学習の時間が確保されていないこともわかった。また、4人に1人が1日に2時間以上使用しており、予習や復習の時間が取れないことも顕著である。スマートフォン等の使い方のルール決めを行い、家庭学習の時間を定着させるために、学習計画や自学ノートの継続的指導を行っていきたい。学習に対しての意欲や自己認知はあるが、行動が伴わないので、家庭とも連携し改善をしていきたい。</p>
②	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つ。	
③	テストで分からなかった問題や間違えた問題についてやり直しをしている。	
④	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。	
⑤	社会の授業が好きだ。	

## 生徒意識調査の結果分析(2年)

### 【 数値が特に高かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていると思う。	<p>①②③の項目では、「そう思う」と答えた生徒が県平均を上回っている。子どもたちが、授業で何を学ぶのかを把握し、きちんと習得できたかを振り返りながら学習に取り組んでいることがわかる。</p> <p>また、④の項目では「そう思う」が半数、「どちらかといえば、そう思う」を入れたら9割以上の生徒が話し合い活動を行っているという回答しており、子どもたちが主体的に学習に取り組んでいる様子が伺える。より一層、主体的な学習に取り組めるような授業づくりに努めたい。また、書く力をつけるために新聞コラムの読解や読書カードの記入など、自分の考えなどを書く機会を授業以外でも継続して行いたい。</p> <p>一方で、①②の項目において県平均を下回っており、自分の将来像など進路意識や目的意識を持たせる必要があると考える。そこで、⑥の結果から子どもたちが「総合的な学習の時間」を普段の生活や社会に出たときに役立つものであるという認識が高いため、現在行っている進路学習および夏休みに実施する職場体験の中で、進路意識等を育みたい。</p> <p>③④⑤の項目については、1年時から継続した課題である。勉強時間は県平均より長い傾向が続いている。学年では、県の意識調査だけではなく、定期的にアンケートをとっており、学年集会で総務が中心となり現状把握、改善を呼びかけている。また、家庭の協力も得ながら、改善していききたい。</p>
②	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う。	
③	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。	
④	授業では、生徒の間で話し合い活動をよく行っていると思う。	
⑤	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つ。	

### 【 数値が特に低かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	人の役に立つ人間になりたいと思う。	<p>①②③の項目では、「そう思う」と答えた生徒が県平均を上回っている。子どもたちが、授業で何を学ぶのかを把握し、きちんと習得できたかを振り返りながら学習に取り組んでいることがわかる。</p> <p>また、④の項目では「そう思う」が半数、「どちらかといえば、そう思う」を入れたら9割以上の生徒が話し合い活動を行っているという回答しており、子どもたちが主体的に学習に取り組んでいる様子が伺える。より一層、主体的な学習に取り組めるような授業づくりに努めたい。また、書く力をつけるために新聞コラムの読解や読書カードの記入など、自分の考えなどを書く機会を授業以外でも継続して行いたい。</p> <p>一方で、①②の項目において県平均を下回っており、自分の将来像など進路意識や目的意識を持たせる必要があると考える。そこで、⑥の結果から子どもたちが「総合的な学習の時間」を普段の生活や社会に出たときに役立つものであるという認識が高いため、現在行っている進路学習および夏休みに実施する職場体験の中で、進路意識等を育みたい。</p> <p>③④⑤の項目については、1年時から継続した課題である。勉強時間は県平均より長い傾向が続いている。学年では、県の意識調査だけではなく、定期的にアンケートをとっており、学年集会で総務が中心となり現状把握、改善を呼びかけている。また、家庭の協力も得ながら、改善していききたい。</p>
②	将来の夢や目標を持っている。	
③	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。	
④	普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。	
⑤	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。	

## 生徒意識調査の結果分析(3年)

### 【 数値が特に高かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	理科の勉強は好きだ。	<p>①②は理科に対する学習意欲が高いことを示している。しかし、③より机上の学習と生活が乖離している状況を窺うことができる。より生活に即した学習、学習の上に立った生活を送ることができるよう指導する必要がある。</p> <p>④⑤は自己肯定感が高いことを示している。一方、①②より自分を律することができないことを示している。自己決定に基づいた自律心を要請する必要がある。</p> <p>④⑤は生活習慣を省みるときに重要な指標である。この設問で低い値が出ているということは、睡眠不足等により学習に集中する土台ができていない生徒が多いことを示している。生活リズムを整え、活動力を高めることが大切であり、家庭の協力も得ながら、改善していききたい。</p>
②	観察や実験を行うことは好きだ。	
③	自分にはいいところがあると思う。	
④	先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う。	
⑤	数学で勉強したことは、将来、社会に出た時に役に立つ。	

### 【 数値が特に低かった項目 】

	調査の項目	分析と改善に向けた具体的取り組み事項
①	学校の規則を守っている。	<p>①②は理科に対する学習意欲が高いことを示している。しかし、③より机上の学習と生活が乖離している状況を窺うことができる。より生活に即した学習、学習の上に立った生活を送ることができるよう指導する必要がある。</p> <p>④⑤は自己肯定感が高いことを示している。一方、①②より自分を律することができないことを示している。自己決定に基づいた自律心を要請する必要がある。</p> <p>④⑤は生活習慣を省みるときに重要な指標である。この設問で低い値が出ているということは、睡眠不足等により学習に集中する土台ができていない生徒が多いことを示している。生活リズムを整え、活動力を高めることが大切であり、家庭の協力も得ながら、改善していききたい。</p>
②	学校の宿題をしている。	
③	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。	
④	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	
⑤	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	